

平等寺 朝夕勤行次第

毎朝六時
每暮四時

先 まづ 壇前普禮

おん れ らば た ぎや
 ハン ナ マ ムナ のう きや ろみ
 ピ ピ モ モ イ ピ ピ
 ハ ハ ム ム イ ハ ハ

om sarvatathāgatapādavandanam karomi. オーメ（聖語）、私はあらゆる御仏の御足に礼拝する。

次 つぎ 着座

〔諸衆〕正座し、衣紋繕い。袈裟・念珠・衣などを整え、一度念珠を摺る。その後、護身法する」と常の如し。

次 つぎ 護身法等如常

次 つぎ 前讃

〔讃頭〕朝・灑水發音。夕・金一打發音

四智梵語

鉢十五（朝は導師のみの場合、無鉢）

心略梵語

鉢三十（朝は導師のみの場合、無鉢）

不動讃

鉢二十四（朝は導師のみの場合、無鉢）



次 表白或いは願文 がんもん 〔導師〕 奉読

(朝勤行)

敬白 真言教主大日如來金剛界會三十七尊九會曼荼羅諸尊聖衆。竝大悲胎藏八葉蓮臺十三大院塵刹聖衆。殊には本尊聖者醫王善逝日光月光十二神將諸大眷屬、總じては佛眼所照恆沙塵數一切三寶境界而言

夫以みれば藥師如來と者、

本行菩薩道の初めには發すに十二の上願を以てし、
東方瑠璃界の際には導くに千萬の下愚を以てす。

内外明徹の惠光は能く惑業煩惱の闇夜を破し、
像末饒益の威力は廣大慈悲の願望を改むること無し。

是の故に藥壺を開いて祕法を施せば病患を速疾に除き
松算を與えて懇念に隨えば壽域を長生に全うす。

加之、一經其耳の少縁、尚お衆病悉除の功有り。

三業相應の懇請蓋ぞ轉業增壽の益を施さざらんにや。

爰を以て護持法主、

今月今日壇上を靈地に儲け、六種の供具を設え、舉手低頭の禮敬を致して、
藥師如來の祕法を心門に修す。

然れば則ち、

護持法主 悉地成就

院内安穩 諸人快樂

別しては、

新型感染症物故者追善供養・新型感染症罹患者早期平癒

新型感染症醫療從事者・葬送從事者等身心安穩報恩謝德

新型感染症被影響者身心安穩日常回復・新型感染症早期終息

災害犠牲者追悼・復興途上地早期復興成就

參詣者・巡禮者・リモート參拜者 心身安穩厄滅開運運氣龍昇一生大吉

護持施主 所願成就 乃至法界 平等利益

(神分)

敬白

(夕勤行・藥師如來名號讀誦會)

敬白 平等寺本尊藥師瑠璃光王如來名號讀誦功德回向之事

伏して惟れば三世諸佛出世の本懷は一切衆生成佛の指南なり。如來所説の八萬四千の法門は生死の苦海を渡す筏なりと。蓋し夫れ六大無碍の臺には迷悟同く優遊す。三密平等の床には生佛互に自樂す。之に迷者は長く三界の遊泥に沈み、之を悟る者は恒に五智の靈臺に遊ぶ。この故に諸佛、彼の六趣の塗炭を悲愍して拔苦の道を開き、菩薩は其の三途の沈淪を哀憐あいれんして與樂の法を示し玉ふ。ここに甚深廣大拔苦與樂の佛有り。所謂東方淨瑠璃世界教主、藥師瑠璃光王如來・醫王善逝是なり。始むるにおいて十二の大願を起こし、就中、第七願に曰く、「我來世に菩提を得し時、若し衆生あつて、病に逼迫ひっぱくし、救いなく、賴りなく、醫療なく、藥なく、親なく、家なく、苦しみ多ければ、我の名號、一度其の耳を経れば、病悉く除き、身心安樂にして家屬資具、悉く皆豐足乃至無上の菩提を證得せしむ」と。ここに今日の法會は、高祖弘法大師のご誓願「一切衆生の身心を平等に癒やし去る」ため御作されし平等寺本尊藥師瑠璃光王如來御寶前に、新型感染症物故者追悼、罹患者平癒、醫療從事者身心安穩、事態の早期終息竝びに護持信心の施主らの諸願成就を祈らんがため、一座の法筵ほうえんを開き、恆沙の名號・神呪を唱え、梵唄を奏し佛德を讚す者なり。音聲即ち實相を顯す。生死豈に涅槃に非らざらんにや。仰ぎ願わくば藥師名號功力を以て恣に自他圓滿の眞果を證得せんことを。依つて金盤を鳴らし過現名簿を唱えて回向すること左の如し。

- 一、奉爲三世覺滿十方賢聖淨佛國土成就衆生
- 一、奉爲弘法大師始奉三國傳燈諸大阿闍梨耶普賢行願皆令滿足
- 一、(ここでお申し込みのあつた祈願を読み上げる)
- 一、爲新型感染症物故者追悼
- 一、爲新型感染症罹患者當病平癒
- 一、爲新型感染症醫療從事者身心安穩報恩謝德
- 一、爲新型感染症被影響者身心安穩所願成就
- 一、爲新型感染症早期終息(等、時節に應じて追加)
- 一、爲三界六道有緣無緣諸精靈等乃至法界平等利益

右、唱へ擧る所如件

次

讀經

『理趣經』「百字偈」

〔經頭〕金二打。〔朝勤行〕『理趣經』。〔夕勤行〕『百字偈』の後に日に応じたお経を読誦。

菩薩勝慧者

乃至盡生死

金剛薩埵

恆作衆生利

而不趣涅槃

菩薩の中にあつて特に優れた智慧ある者は、いつまでもこの生死の世界にあつて、常に衆生の利益を為し、声聞や緣覚のように無益な涅槃に向かおうとはしない。永遠にこの世界に留まり、衆生救済に奔走する金剛薩埵は、大智の故に生死に染まらず、大悲の故に涅槃に赴かない。これを無住處涅槃という。

般若及方便

智度悉加持

諸法及諸有

一切皆清淨

欲等調世間 令得淨除故

有頂及惡趣

調伏盡諸有

五祕密尊

金剛欲明妃菩薩

金剛觸明妃菩薩

如蓮體本染

不爲垢所染

諸欲性亦然

不染利群生

この大きいなる欲がもたらす分別（愛情）は私欲を離れた清浄なものであるゆえに、赤い蓮華の花が、その色によつて汚されるでは無く美しく輝くように、大いなる欲も分別（愛情）に汚されることなく、愛によつてより良く生きとし生けるものに利益を与えることが出来る。この不染の愛こそ愛明妃の境地である。

この清淨なる大いなる欲によつて、大いなる安樂を感じるようになり、どのようなものも調伏できる大いなる財を得る。この世界のあらゆる場所あらゆる瞬間ににおいて、生きとし生けるものを誤りなく確實に利益する。この大きいなる精進は、慢明妃の境地である。

大欲得清淨

金剛慢明妃菩薩

三界得自在

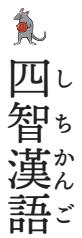
能作堅固利

この清淨なる大いなる欲によつて、大いなる安樂を感じるようになり、どのようなものも調伏できる大いなる財を得る。この世界のあらゆる場所あらゆる瞬間ににおいて、生きとし生けるものを誤りなく確實に利益する。この大きいなる精進は、慢明妃の境地である。

次

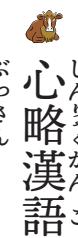
後讚

〔経頭〕 金一打。 〔讃頭〕 発音。 願文ある時は一讚鉢三十。



四智漢語

鉢十五



心略漢語

鉢三十



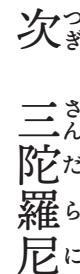
佛讚

鉢二十四

次

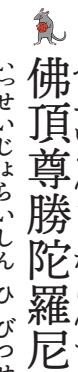
後讚

〔経頭〕 金一打。 〔讃頭〕 発音。 願文ある時は一讚鉢三十。



三陀羅尼

『金剛界禮懺』 「至心迴向」 喇



佛頂尊勝陀羅尼

一遍



一切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼

一遍



阿彌陀如來根本陀羅尼

一遍

次

至心迴向

『金剛界禮懺』 「至心迴向」 喇

懺悔隨喜勸請福願我不失菩提心
諸佛菩薩妙衆中常爲善友不厭捨

離於八難生無難遠離愚迷具悲智

眷屬廣多恒熾盛六通諸禪悉圓滿

富樂豐饒生勝族願讚回向亦如是
四無礙瓣十自在願讚回向亦如是
如金剛幢及普賢眷屬廣多恒熾盛六通諸禪悉圓滿

歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

次

退堂

平等寺御寶號念誦次第

〔経頭〕金一打。勤行次第の頭を出す。

礼拝

「経頭」金一打。〔諸衆〕本尊の御前に對して身を正して合掌し、左

の腕に念珠を懸けて五体投地の禮を作ること二度。普礼の真言に曰く、

おん さ らば た た ぎや た
ハ モ イ ハ ハ イ
はん な ま んな のう きや ろ み

開經偈

一遍

無上甚深微妙法 百千萬劫難遭遇
我今見聞得受持 願解如來真實義

この上なく、極めて深く、素晴らしい仏の教えは、宇宙全体が十億回ほど消滅と生成を繰り返しても (kalpakotisata) 出会うことが難しいという。私は今、人として生まれ、その教えを見て聞いて受けもつ機会を得ることができた。ついては仏が意図したとおりに意味を理解できることを願う。

om sarvatathāgatapādavandanam karomi オーラム（聖語）、私はあらゆる御仏の御足に礼拝する。

懺悔文

一遍 実叉難陀訳『大方廣仏華嚴經』「普賢行願品」偈

我昔所造諸惡業 皆由無始貪瞋癡
從身語意之所生 一切我今皆懺悔

私が遙かな昔より作ってきた悪い行いは、全ていつからはじまつたのかも分からぬ「貪り・怒り・愚かさ」が原因となつて、「身体・言葉・意識」の中で生み出されてきた。私は今、その全てを懺悔する。

三歸依文

弟子某甲 盡未來際

歸依佛

歸依法

歸依僧

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、仏を信じ、仏の教えを信じ、仏の教えを実践する出家者の集まり（サンガ）を信じる」と誓う。Skt. *Buddham śaranam gacchāmi, Dharmam śaranam gacchāmi, Samgham śaranam gacchāmi.*

三竟

三遍

弟子某甲 盡未來際

歸依佛竟

歸依法竟

歸依僧竟

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、仏を信じ、仏の教えを信じ、仏の教えを実践する出家者の集まり（サンガ）を信じている。

十善戒

三遍 実叉難陀訳『大方廣仏華嚴經』「十地品」

弟子某甲 盡未來際

不殺生

不偷盜

不邪淫

不妄語

不綺語

不惡口

不慳貪

不瞋恚

不邪見

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、故意に生きている者を傷つけず、与えられていない物を自分の物とせず、邪な男女関係を持たず、故意に嘘を言わず、余計なことも言わず、悪口も言わず、一枚舌も使わず、出し惜しみせず必要以上に欲しがらず、何があつても怒ること無く、因果応報の道理を信じない考え方を持つことはないと誓う。

五大願

一遍 宥快和会『十八道念誦頌次第』

衆生無邊誓願度 福智無邊誓願集
 法門無邊誓願覺 如來無邊誓願事
 菩提無上誓願證 自他法界同利益

生きとし生けるものの数は限りないが、私はそれら全てを迷いから救うと誓う。福德と智慧は限りないが、私はそれら全てを集める誓う。仏の教えは限りないが、私はそれら全てを学ぶと誓う。如来の数は限りないが、私はそれら全てにつかえることを誓う。菩提はこの上ないが、私はそれを悟ると誓う。（これによって）自と他と世界全体とは、利益を同じくする。

發菩提心

三遍 善無畏訣『大毘盧遮那經廣大儀軌』

唵
波
提
心
三
昧
耶
戒
三
昧
耶
戒

on bodhicittam utpadayāmī. オーム、私は菩提心を生起せしめる。

入佛三昧耶

三遍 善無畏・一行訣『大毘盧遮那成佛神變加持經』「入漫茶羅具緣真言品」

唵
波
提
心
三
昧
耶
戒
三
昧
耶
戒

namah samantabuddhanān̄ asame trisame samaye svāhā. 私はあらゆる仏たちに帰依する。等比するものが無(ご)平等である(い)の三昧耶よ。スヴァーハー(聖語)。

三昧耶戒

三遍 金剛智訣『金剛頂瑜伽中略出念誦經』

唵
摩
尼
波
羅
彌
陀
佉

om samayas tvam. オーム、あなた（金剛薩埵）は三昧耶（あらゆるもののが苦を抜き樂を与えるという誓いを表現する者）である。

般若心經

一遍 玄奘譯『般若波羅蜜多心經』

佛說摩訶般若波羅蜜多心經

般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中無色無受想行識
耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至
無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死
亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
墨礙無墨碍故無有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜
多是大神咒是大明咒是無上咒是無等故
咒能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜
多咒卽說咒曰

般若心經

般若心經

般若心經

波羅揭諦

波羅僧揭諦

波羅僧揭諦

大師御寶号及び真言

 大師寶号 南無大師遍照金剛

百遍或は千遍

 弥勒慈尊 おん まいたれいや そわか

二十一遍

 藥師名號

經頭に従つて讀誦。各七遍。

 藥師名號 南無藥師瑠璃光如來

 藥師大咒

のうぼう ばぎやばてい ばいせいじやぐろ ばいちよりや
はらばあらんじや タたぎやたや あらかてい さんみやく
さんぽだや たにやた おん ばいせいぜい ばいせいぜい
ばいせいじや さんぽりぎやてい そわか

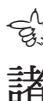
 藥師心咒

おん ころころ せんだりまとうぎ そわか

 藥師小咒

せんだりまとうぎ

そわか

 諸眞言

きょうとう したが どくじゅ おのおのななへん
経頭に従つて讀誦。各三遍。

 日光菩薩

おん ろばにゅた そわか

 月光菩薩

おん せんだらはらばや そわか

 十二神將

おん くびら そわか

 本尊界會

なむほんぞんかいえ

胎藏四菩薩		胎藏五佛		金剛界五佛	
	地藏菩薩 じぞうぼさつ		文殊菩薩 もんじゅぼさつ		般若菩薩 はんにゃぼさつ
おん	かかか	おん	じしり	おん	あきしゅびや
(法住)	(迅疾持)	(世尊陀羅尼)	(一切支分生)	(胎藏大日)	(阿閦如來)
おん	かかか	おん	じしり	おん	あきしゅびや
般若菩薩	地藏菩薩	文殊菩薩	般若菩薩	胎藏大日	金剛界大日
おん	かかか	おん	じしり	おん	ばざらだと
(迅疾持)	(法住)	(世尊陀羅尼)	(一切支分生)	(胎藏大日)	(金剛界大日)
じんばら	じんばら	のうまく	のうまく	のうまく	おん
けんじやりけい	のうまく	さんまんだぼだなん	さんまんだぼだなん	さんまんだぼだなん	あぼきや
そわか	さんまえい	さんまんだぼだなん	さんまんだぼだなん	さんまんだぼだなん	しつでい
	そわか	あんあく	かんかく	あんあく	あく
		そわか	そわか	そわか	
		さもりち	そわか	そわか	
		ゆけい			

一切佛心

のうまく さんまんだぼだなん あん さらばぼだ ぼうじ
さとば きりだやにやべいしゃに のうまく さらば びでい

そわか

一切菩薩

のうまく さんまんだぼだなん きや さらばた びまち
びきらんだ たらまだと にりじやた さんさん か そわか

持佛本尊

おん まかきやろにきや そわか
おん ろけいじんばら きりく

十一面尊

のうまく さんまんだ ばざらだん せんだ まかろしやだ
そわたや うんたらた かんまん

不動明王

おん そんばにそんば うん ばざら うんぱつた

降三世王

おん あみりてい うんぱつた

大威德王

おん しゅぢり きやらろは うん けん そわか

金剛夜叉

おん ばざらやきしゃ うん

愛染明王

おん まからぎや ばぞろしゅにしや ばざら さとば じやく

毘沙門天

おん べいしらまんだや そわか

大金剛輪

のうまく しつちりやぢびきやなん たたぎやたなん あん
びらじ びらじ まきしやきやら ばじり きた きた さら
てい さらてい たらい たらい びだまに さんばんじやに
たらまち しつた がりや たらん そわか
のうまく さんまんだぼだなん ぼろん

五大明王

一字金輪

 佛眼佛母

のうぼう ばぎやばとうしゅにしゃ おん ろ ろ そぼろ
じんばら ちしゅた しつだ ろしゃにさらばらた さだにえい

そわか

 釋迦牟尼

なむはちだいこうそ
南無釋迦牟尼 善逝

 八大高祖

なむはちだいこうそ
南無八大高祖

 賓頭盧尊

なむびんずるそんじや
南無賓頭盧尊者

 諸阿羅漢

なむしょあらかん
南無諸大阿羅漢

 金剛力士

なむこんごうりきし
南無金剛力士

 光明眞言

おん あぼきや べいろしやのう
じんばら はらばりたや うん

 大師寶號

なむだいしほうごう
南無大師遍照金剛

 鎮守寶號

なむちんじゅほうごう
南無當山鎮守

 牛頭天王

なむごずてんのう
南無祇園牛頭天王

 自在天神

なむじざいてんじん
南無天滿大自在天神

 稲荷明神

なむいなりみょうじん
南無稻荷大明神

 蟲大明神

なむとどろきだいみょうじん
南無蟲大明神

 愛宕權現

なむあたごごんげん
南無愛宕大權現

 善女龍王

なむぜんじょうおう
南無善女龍王

 金毘羅神

なむこんびらしん
南無金毘羅大權現

平等寺鎮守

 護法善神 ごほうぜんじん 南無萬山護法善神 なむまんざんごほうぜんじん

 世出世神 せしゅうせしん おん ろきやろきや きやらや そわか

 先師尊靈 せんじそんりょう 南無當山代々先師尊靈 なむとうざんだいだいせんじそんりょう

 各家尊靈 かつけそんりょう 南無當山檀越先祖代々尊靈 なむとうざんだんのつせんぞだいだいそんりょう

 過去精靈 かこしょうりょう 南無過去精靈 なむかこしょうりょう

 三界萬靈 さんがいばんれい 南無三界萬靈 なむさんかいばんれい

 回向文 えこうもん 『法華經』「化城喻品」偈 ほけきょう」「かじょうゆほん」げ

願以此功德 普及於一切
我等與衆生 皆共成佛道

願わくば此の功德を以て普く一切に及ぼし我等と衆生と皆共に仏道を成せん

 護身法等如常 ごしんぱうなどつねのじよ

 三歸禮 さんきらい

實叉難陀訖『大方廣仏華嚴經』「淨行品」。〔經頭〕金一打し發音。
〔諸衆〕一同、三歸禮文を唱和しながら五体投地すること三度。

自歸依佛 當願衆生 體解大道
自歸依法 當願衆生 深入經藏
自歸依僧 當願衆生 統理大眾
當願衆生 一切無礙 智慧如意

 退堂 たいどう